

1 第4期計画の方向性

(1) 現行計画の考え方の継承・再構築

人々の創造性を育む文化芸術の役割は今後も変わることなく心豊かな活力ある社会の形成に極めて重要な意義を持つものであることから、~~第3期の多くの期間がコロナ禍に見舞われ、評価検証が難しいこと、事業の継続性も大切であることから、~~現行計画の基本的な考え方を土台としながら見直しを進める。

(2) コロナ禍を含めた状況変化、国の計画の変更点などを踏まえた見直し

コロナ禍を含めた札幌の文化芸術を取り巻く状況変化、国の計画の変更点については、本計画見直しにとって必要な視点と想定。

(3) 重点的に取り組む項目の整理

第4期においてはメリハリをつけた取組となるよう重点的に取り組む項目の整理も必要と想定。

2 札幌市の文化行政の方向性（文化芸術の価値）

(1) 文化芸術の価値（文化芸術推進基本計画【国の計画】第一期より）

○ 国では、文化芸術の価値は「本質的価値」と「社会的・経済的価値」を有していると整理している。

1 文化芸術の価値等

（中略）

文化芸術は（中略）以下のような本質的及び社会的・経済的価値を有している。

（本質的価値）

- ・文化芸術は、豊かな人間性を涵養し、創造力と感性を育む等、人間が人間らしく生きるための糧となるものであること。
- ・文化芸術は、国際化が進展する中であって、個人の自己認識の基点となり、文化的な伝統を尊重する心を育てるものであること。

（社会的・経済的価値）

- ・文化芸術は、他者と共感しあう心を通じて意思疎通を密なものとし、人間相互の理解を促進する等、個々人が共に生きる地域社会の基盤を形成するものであること。
- ・文化芸術は、新たな需要や高い付加価値を生み出し、質の高い経済活動を実現するものであること。
- ・文化芸術は、科学技術の発展と情報化の進展が目覚ましい現代社会において、人間尊重の価値観に基づく人類の真の発展に貢献するものであること。
- ・文化芸術は、文化の多様性を維持し、世界平和の礎となるものであること。

(2) 「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」が目指す姿

○ 札幌市の最上位計画である「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」では、分野横断的なまちづくりの重要概念として以下の3点を挙げている。これらをより端的に理解できるよう要素分解し、キーワードを抽出。

概念	目指す姿	キーワード
ユニバーサル（共生）	「誰もが <u>多様性を尊重し</u> 、互いに手を携え、 <u>心豊かにつながる</u> こと。また、支える人と支えられる人という一方向の関係性を超え、 <u>双方向に支えあう</u> こと」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共生社会／ダイバーシティ ・ コミュニティの形成・維持 ・ 社会的包摂
ウェルネス（健康）	「誰もが <u>幸せを感じながら生活し</u> 、 <u>生涯現役</u> として活躍できること。 <u>身体的・精神的・社会的に健康</u> であること」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幸福／ウェルビーイング ・ 生きがい／ライフワーク ・ QOL（生活の質）の向上 ・ 豊かな人間性の涵養
スマート（先端・快適）	「誰もが <u>先端技術</u> などの利点を享受でき、生活の <u>快適性やまちの魅力</u> が高まっていること。誰もが <u>新たな価値や可能性の創出</u> に向けて挑戦できること」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先端技術の活用 ・ 都市の魅力向上 ・ 新価値創造

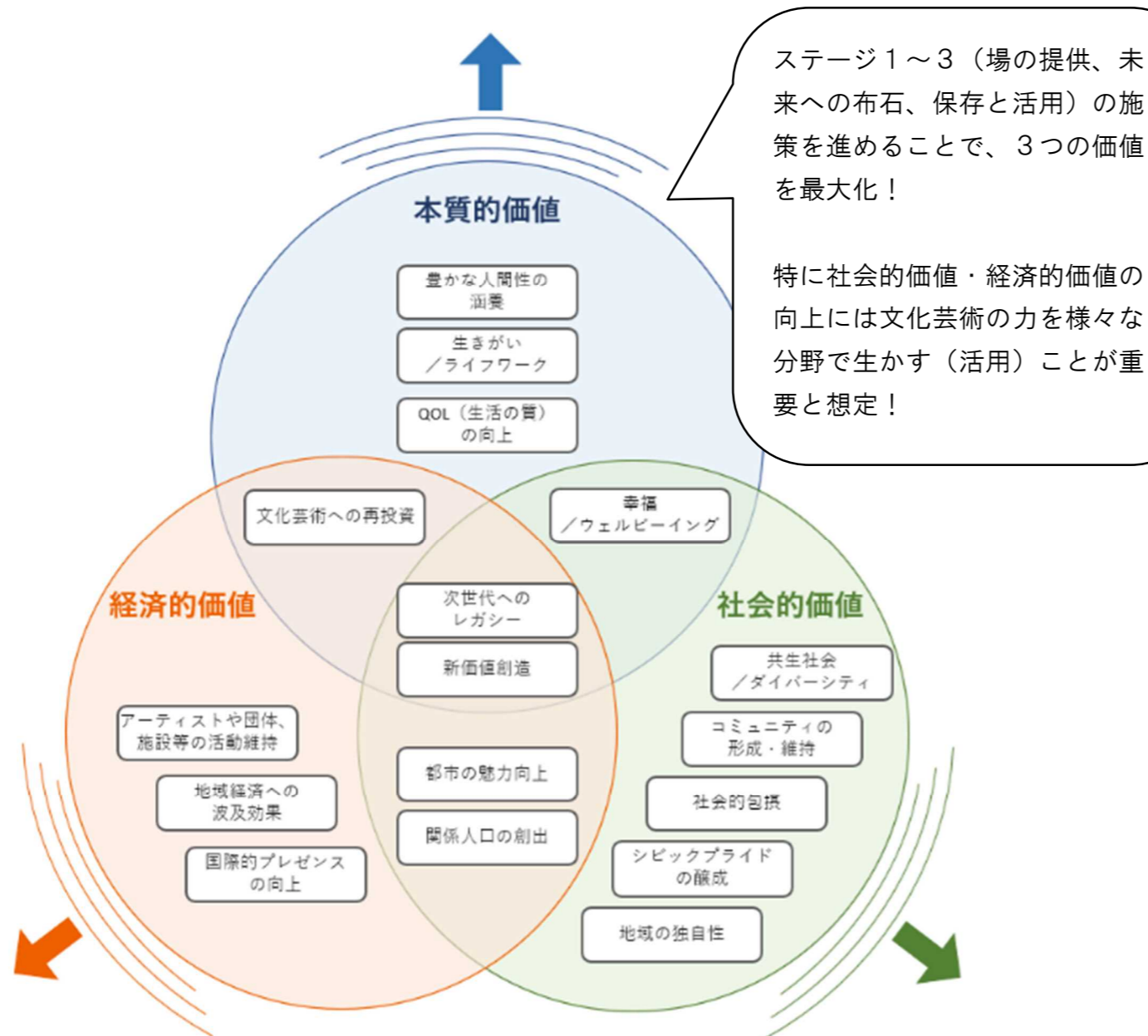
○ また、個別分野としての文化芸術については、以下のとおり3つの「目指す姿」が示されている。こちらからも同様にキーワードを抽出。

目指す姿	キーワード
①「誰もが文化芸術に <u>親しみ</u> 、創作や表現ができる <u>環境</u> が整い、 <u>多様な価値観</u> が受け入れられています。」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞・体験等の機会の充実 ・ 文化芸術活動の支援・環境整備 ・ 共生社会／ダイバーシティ
②「札幌市ならではの文化が育まれ、 <u>世界に発信</u> され、 <u>多くの人が集まるとともに</u> 、 <u>様々な分野との連携</u> によって <u>新たな価値が創出</u> され、 <u>まちの魅力が向上</u> しています。」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の独自性 ・ 情報発信 ・ 国際的プレゼンスの向上 ・ 関係人口の創出 ・ 他分野連携 ・ 新価値創造 ・ 都市の魅力向上
③「文化・文化財を適切に <u>保存し様々な形で生かす</u> とともに、札幌市への <u>愛着</u> を深めることで、札幌市の自然・歴史・文化が <u>未来へ継承</u> されています。」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化資源の保存・活用 ・ シビックプライドの醸成 ・ 次世代へのレガシー

(3) 札幌市の文化行政の方向性（文化芸術の価値）

ここまで挙げてきたキーワードを国が述べている文化芸術の3つの価値に整理すると以下の構造と考えられる。

文化芸術が持つ3つの価値は、社会をより望ましい方向へ導くプラスの効果とも捉えることができ、今後の本市文化行政においては、本計画の実施を通じ、以下の3つの価値・効果を最大限に高めることが重要と考えられる。また、文化芸術の力を様々な分野で生かすことを通じて社会的価値・経済的価値をより向上させることが、第四期計画のポイントになるものと想定する。



3 計画見直しにあたって各委員の視点（第一回委員会から抜粋）

- コロナ禍においても「伸びている」や「社会が求めている」ものはやるべきものなのではないか。
- 実際にもものに触れて体験するということは大切で根本的なもの。そういうものに触れる機会を増やすことが本質だと思う。
- 大規模イベントについての振り返りなどは必要なのではないか。
- 国の基本計画の主な課題に文化芸術の担い手の活動基盤が弱い、担い手の確保の方策が必要と、「担い手」という言葉が2回出てきており、誰でも文化芸術に触れることができる環境の充実ともある。おそらく、担い手を充実することで、皆が触れる機会を増やすことにつながるというサイクルではないか。そうした観点から、中間支援団体に市から予算配分をして、そこからアーティストを支援する、それで中間支援団体自身も成長していくというのは、担い手という観点で4期でも大事にしていかなければならないことだと思う。
- 芸術と他を異分野と考えるのがそもそもおかしくて、文化芸術の中に教育も福祉の問題も入ってくるもの。
- 多様性の尊重も非常に重要で、アイヌ民族の歴史文化を文化芸術の枠でどう考えていくのか、アイヌ民族の文化振興を検討してほしい。
- 交流人口の拡大は札幌市にとって大きな課題だと思っており、単に市民が楽しむだけでなく、外から人を呼び込むということはSIAFもそうだと思うし、PMFもタングルウッドのようになってほしいと思う。アドベンチャートラベルワールドサミットの中でアイヌや縄文文化を取り上げてほしいという要請もあるので、外向きに発信する手段としても考えてほしい。

4 4つのステージと施策の再構築について（たたき台）

○ 再構築（たたき台）の意図

- ◆ 第三期の構造を基本として必要と思われる箇所を見直し。
- ◆ 誰でも芸術に親しめる環境整備は重要な視点と考えられるため、施策 1-3 として追加。
- ◆ アーティスト支援については、多様な支援が想定されるため、既存の 2-2、4-1 を統合。
- ◆ 文化芸術の力を様々な分野で生かしていくためには、新たな仕組みが必要と考え 2-3 を「文化芸術をつなぐ新たな仕組みの検討」に修正
- ◆ 「ステージ3 文化の保存・活用」については、様々な文化資源を活用するという意味合いを強くするため「文化資源の保存・活用」に修正。
- ◆ 3-2「文化芸術を生かした様々な事業との連携強化」については、4期計画で力を入れるべきと考えられる活用を意識して「文化芸術の様々な分野との連携・活用」に修正。
- ◆ 「ステージ4 視点の検討」については、4-1はステージ2に、4-2「情報の蓄積に向けた調査・研究」については、「蓄積した情報の活用」に修正し、ステージ3に移行。4-3「将来の文化芸術活動を活性化させるための調査研究」については、「将来の文化芸術活動を活性化させるための仕組み」に修正するとともに、全体に係る話のため、別途計画中にステージとは別に記述することを想定。

第3期計画の施策の構成	第4期計画の施策の構成
ステージ1 機会の充実 施策 1-1 多彩な文化芸術に親しむ機会の提供 施策 1-2 文化芸術のための施設の活用等	ステージ1 機会の充実 施策 1-1 多彩な文化芸術に親しむ機会の提供 施策 1-2 文化芸術のための施設の活用等 施策 1-3 誰でも芸術に親しめる環境の整備
ステージ2 未来への布石、育成、支援 施策 2-1 子どもたちの文化芸術活動の充実 施策 2-2 アーティスト等のステップアップ促進 施策 2-3 文化芸術をつなぐ新たな役割の育成・支援	ステージ2 未来への布石、育成、支援 施策 2-1 子どもたちの文化芸術活動の充実 施策 2-2 多面的なアーティスト支援 施策 2-3 文化芸術をつなぐ新たな仕組みの検討
ステージ3 文化の保存・活用 施策 3-1 文化遺産・自然遺産の保存と活用 施策 3-2 文化芸術を生かした様々な事業との連携強化 施策 3-3 札幌の文化芸術を通じた国内外への魅力発信	ステージ3 文化資源の保存・活用 施策 3-1 文化遺産・自然遺産の保存と活用 施策 3-2 文化芸術の様々な分野との連携・活用 施策 3-3 札幌の文化芸術を通じた国内外への魅力発信 施策 3-4 蓄積した情報の活用
ステージ4 視点の検討 施策 4-1 情報発信機能の強化 施策 4-2 情報の蓄積に向けた調査・研究 施策 4-3 将来の文化芸術活動を活性化させるための調査・研究	★ 将来の文化芸術活動を活性化させるための 仕組み ※ 別途ステージとは別に記載することを想定。

MEMO

本日の議論に加え、文化芸術団体等の意見の聞き取りなども踏まえて、次回に改めて提示。